

学校名	海陽町立宍喰小学校
授業者	後藤せりか

1. 単元計画

1-1. 単元名

テングサプロジェクト

1-2. 学年

第3学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

今年度の総合的な学習の時間は、宍喰の豊かな自然（テングサ）を学習材として探求活動を行い、体験したことを元に、プレゼンテーションにまとめる。そして、町外の小学校3年生の友達に「テングサプロジェクト」として宍喰の自然（テングサ）の魅力を発信する。発信の過程を通して相手校の町の魅力を知ったり、宍喰の町の魅力を再確認させたりする。

また、宍喰の町の魅力である自然環境は、多くの人の保全活動に支えられていることに気付くとともに、課題にも気付かせる。



1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童は、楽しいことが大好きで、何事にも興味を持ち、自由な発想力を持っている。

前学年までに児童は、宍喰の町について調べる体験活動を積んできている。調べた事をまとめて、身近な人への発信も行っている。これらの学習を通して児童は、もっと多くの人に「宍喰の自然の魅力」を知ってもらいたいという気持ちが高まってきている。

3年生では「テングサ」を収穫し、情報を発信する。発信メンバーの意見を受け入れたり、参考にしたりする学習を通して、自分たちの思いや考えを、大勢の人に伝えるための方法を学ぶ。そして、体験活動から学び、考えたことを発信することにより、宍喰の魅力を再確認できるようにする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

(1) 宍喰には、季節ごとの自然の素晴らしさがあることを知るとともに、それを守る人々が活動していることを理解する。
(2) 自分の考えや思いを、タブレット端末等を活用してまとめたり、表現方法を工夫して伝えたりしようとする。
(3) 自分と宍喰の自然とのつながりに気付き、身近な自然を大切にしようとする態度を育てる。

1-7. 単元の展開（全25時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	【オリエンテーション】 ・テングサについて知っていることを交流する。 ・テングサについて詳しく調べる。 ・テングサの採取方法を調べ、小集団や全体で共有する。	【教師の指導】 ・調べたことを共有できるように、時間を十分にとり、小集団での発表時間も確保する。 【主な評価】 思考力・判断力・表現力 【使用教材等】 ・タブレット ・ホワイトボード
3	【テングサを収穫】 ・宍喰の自然の豊かさや自然の力を感じ取る。 ・潮の流れを感じ、テングサが生息している場所を肌で感じ、調べた事と事実とを照らし合わせる。	【教師の指導】 ・安全面に注意するように、確認させる。 【主な評価】 学びに向かう力・人間性 【外部連携】 ・宍喰漁業協同組合 ・海洋自然博物館マリンジャム
3	【テングサの下処理】 ・テングサについている微生物やゴミを取り除き、加工できるように処理する。 ・加工するまでには、多くの時間と手間がかかっていることを体験する。 ・テングサの色の変化を感じ取り、自然の不思議さや恵みを感じ取る。	【教師の指導】 ・天候や気温など、テングサの色の変化に関係があることに気付かせる言葉がけを行う。 【主な評価】 知識・技能 【使用教材等】 ・たらい ・えびら ・ざる
4	【テングサを加工】 ・テングサのしおり作り ・ゼリー作り ・テングサの加工方法を知り、テングサの魅力を実感する。	【教師の指導】 ・校内講師を招き、身近な人に支えられている事に気付けるようにする。 ・加工の手順を分かりやすく伝える 【主な評価】 学びに向かう力・人間性 【使用教材等】 ・ラミネーター ・ラミネートフィルム ・ゼリー作りの道具（大きい鍋）

10	<p>【「テングサ」情報発信へ向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の方法を考える。 しおりを全校に配付する。 <p>調べたことや体験したことを，プレゼンテーションアプリを使って写真や図，文章でまとめ，ウェブ会議システムで阿南市立見能林小学校3年生に発信するまとめをする。</p>	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を発信する相手を意識できるようにする。 <p>【主な評価】 思考力・判断力・表現力</p> <p>【使用教材等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット ・大型テレビ
3	<p>【「テングサ」情報発信！！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報や体験した事を阿南市見能林小学校の3年生に発信する。 ・見能林の魅力も聞く。 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わりやすい発表の仕方について確認する。 <p>【主な評価】 学びに向かう力・人間性</p> <p>【使用教材等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット ・大型テレビ

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ



単元 2 5 時間中の 10, 11 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

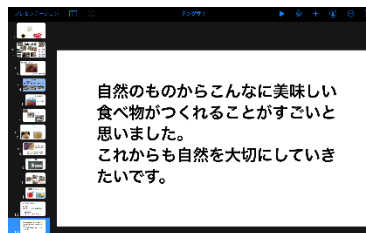
宍喰の海（竹ヶ島）で収穫したテングサを使って料理を作り，自分と宍喰の自然とのつながりに気付くことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 本時の活動の確認</p>  <p>・自分たちが収穫した「テングサ」で調理できる事への喜びと期待を持っている。</p> <p>2 「テングサ」を使ってゼリー作りを行う</p> <p>・作り方を見て，自分たちで相談しながら調理を進められることに喜びを感じている。</p>  <p>3 ふりかえり</p> <p>・身近なもの「テングサ」がゼリーになることに驚いている。</p> <p>・自然の恵みに気づき，感謝の気持ちを持っている。</p>	<p>○本時のめあてを提示する。</p> <p>○学習の流れを提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料や作り方 ・注意点 <p>○安全面，衛生面に配慮した指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火の側から離れない ・材料に触るときには手袋を着用する <p>○班ごとに役割分担をし，協力して調理を進められるように言葉がけを行う。</p> <p>○「テングサ」の変化を感じられるようにする。</p> <p style="text-align: center;">学びに向かう力・人間性（発言・観察）</p> <p>○感想の交流を行い，自分と宍喰とのつながりに気付けるようにさせる。児童の発言に，意味付けをしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理の感想 ・宍喰の自然についての感想 ・「テングサ」を使って感じたこと <p style="text-align: center;">思考力・判断力・表現力（発表）</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ・体験活動を行うことで、宍喰の自然の豊かさを実感することができた。
その中で、子どもたちの感動があり、感謝の気持ちが育った。
- ・教科横断的な学習を行うことができた。
- ・体験したことを元に、情報発信し、他校とつながりを持つことができた。
他校の町の魅力を知ることで、さらに宍喰の自然や伝統を大切にしたいという気持ちを持つことができた。
- ・学んだことを元に、宍喰の魅力を確認することができ「テングサ」以外のことにも興味を持つことができた。



4. 今後の課題

- ・情報発信の方法がたくさん出てきたので、相手意識や目的意識を変化させながら、体験させる。
- ・コロナウイルス感染症対策のため、活動内容を制限したり、伝える方法を工夫したりする必要があった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし